

意見交換会「平成 28 年 4 月 24 日 ラディアンMR 2」要約

テーマ A : 東大跡地活用 11 名 B : 地域包括ケアシステム 8 名 C : 予算全般 7 名 計 26 名

【東大果樹園跡地活用について】

要約 :

将来を見据えた魅力的な町づくりに利活用すべきである。具体的には跡地の自然を生かした子どもから高齢者まで楽しめる交流の場となるような公園、またその公園を災害時の防災の拠点とする、更には一部を高齢化の進展を考慮して介護施設を建設する等のアイデアが出された。利活用の基本的な考え方や具体的なアイデアだけでなく、其々のアイデアの利点や課題も出た。

以下に具体的な議論と出されたアイデアを記す。

各意見

- B 地区と C 地区は分けて利用すると良い（例えば B 地区を防災公園、C 地区を介護施設など）。
- 将来を起点に考え、どう利用するか議論すべき。
- 若い人に魅力的な活用方法。
- テーマを絞って進めることで議論が深まる。
- 現状の整備をどうするか、ボランティア任せでは良くない。
- 植物豊富で安全に遊べる場所。
- 子どもから高齢者まで互いに交流できる場所。
- 子どもの遊び場、公園（自然遊び）。
- 建物を造るのは現実的でなく、自然を残した公園。
- 自然を残す、たとえば竹林、里山。
- 歴史ある建物も残し利用可能とする（耐震化）。
- 災害時に車で行ける避難所。
- 自然を残した防災公園。
- 里山と防災公園。
- 介護施設（C 地区）。

【地域包括ケアシステムについて】

要約 :

地域包括ケアシステムそのものが分かりにくく、ケア自体も、地区で何をどうすべきなのかははっきりせずまずはマニュアルを作成すべき。そして、地域福祉計画に意見したり、専門家の意見も取り入れながら、町にふさわしい計画を立てるべきである。それにより「誰が、何をするのか？」が明確になる。

・福祉に関係しないかもしれないが、防災をどうするのか。町の情報提供の足りなさを感じる。

各意見

- 地域サロンを開設するにあたってはよく理解したい。現在と今後の説明をして欲しい。
- 在宅医療と称して地域に面倒をみさせようというのが目的。良いことばかりで、言いにくいことを隠している節がある。
- 3 者（町、議員、町民）がどう連携を取っていくのか。誰が何をやるのか、きちんとしたマニュアルを作って欲しい。いい話ばかりしていても分からない。
- 井戸のある家を調べ、飲めるかどうか確認して欲しい。

- 地域での役割、誰が担うか、自分が何をやるかということが大切だが、自助が一番。自分たちの町のためであれば、自分も頑張らなければならない。防災を含めて考える。
- マニュアルづくりは、地域にふさわしいマニュアルを作れるかは疑念を感じる。
- 民生委員、社協、町内会、自治会、医師会等関係者が集まって仕組みを作るべきで、地域にふさわしいものにしてもらいたい。
- 地域によりかなり違いがある。アンケートは誘導される、専門家は平均化したもの、町にフィットさせるのであれば、やはり町職員が提案していかないと二宮バージョンにならない。
- マニュアルづくりは、地域にふさわしいマニュアルを作れるかは疑念を感じる。
- 民生委員、社協、町内会、自治会、医師会等で協議してもらえばいいのではないかと。どういつながりで運営していくのか。国は金を出さない、地域のボランティアでやってくれというのが本音なのだからそれに叶う仕組みを作るしかない。関係者が集まって、国のということが本当に私らにフィットしているのか。その、各地域にふさわしいものに。
- 町も吾妻山の南と北では状況が異なり、地域から意見をあげないと良い仕組みはできない。まだまだ情報不足であり定期的な説明会、勉強会が必要。
- 地域包括ケアそのものがまだまだ分からず、2つも3つも上の話で難しい。
- 医療と介護、下手すると防災や保育も入ってくるから理解しにくいものとなる。整理して考えよ。
- 老人会では友愛チームが安否確認等している。
- 行政サービス全体の見直しが必要。

【平成 28 年度予算等について】

要約：

一色小学校区地域再生協議会については大変重要な位置づけと捉えるが、全く見えず不安。議会は、この一年の動きをしっかりと把握、追求していくべきであり、その進捗を町民に都度説明する必要がある！また、下水道料金値上げについては、料金改定の理由をきちんと説明せよ。

各意見：一色小学校区地域再生

- 急に出てきた補助金（地域再生事業）は何に使われるのか分からない。
- アドバイザーにお金が出るだけで何も残らない、そのようなことにならないように。
- 今年度の単年度補助金だが今後どうするか不安あり。
- 職員が右往左往するだけではないか、しっかりと計画で身長させるべき。
- 村田町長の目玉であるまさに地域再生、進まなければ村田町政は終わる。
- 具体的に何がどう進むのか見えず不安であり、しっかりと示すべき。
- 地域再生のそもそもの目標が分からず。公社住宅が再生されるならそれで良いのではないかと。
- 議会も大丈夫だろうか？と不安に思っているはず。しっかりと追求すべき。
- 補助金申請前から議員も入って検討がなされていたならば良かったが、今後は心配。
- 生活を地域の住民に考えて欲しいとは、行政は無責任すぎる。
- 協議会の位置づけが分からない。町は見てるだけで何もしないと捉える。不満あり。

：下水道料金値上げについて

- 一般会計からの繰り入れは今後しない方向と理解するが、それが単純に値上げでは困る。
- 今後まだ上がる可能性があるようだが、計画があればきちんと示すべき。
- 使用料収入でまかなえるのかそもそも疑問をもつ。
- 酒匂川、相模川流域で負担額が異なるのはなぜか、同じ県民としてきちんとした説明が欲しい。